

## エレミヤ書と哀歌結晶の学び#2:エレミヤ書の核

9/7-9/13 **OL Summary:** **I.** エレミヤ書の核は、三つの事柄を含んでいます。神は私たちから何を求めているのか、私たちは堕落した状態において何であるのか、キリストは私たちにとって何であるのかということです。私たちはこの三つの事柄を見るために、エレミヤ書の殻を「砕き」、内側の核に集中する必要があります。この核は、全聖書の教え全体です。 **II.** 神が私たちから何を求めているかは、おもにエレミヤ2:13で述べられており、それは私たちの神が生ける水の源泉であることを啓示しています: **A.** 神のエコノミーにおける神の意図は、生ける水の源泉、源となって、私たちを満足させ、私たちの享受となることです。神が求めているのは、私たちが神を私たちの存在の源、源泉とすることです。神を生ける水の源泉とする唯一の道は、日々、神から飲むことです: このためには、私たちが絶えず主を呼び求め(感謝し、歓喜し、祈り、賛美することをもって)、生ける水の源泉としての彼から、歓喜をもって水をくむことが必要となります/神聖な救いの泉から水をくむ道には、悔い改めること、呼び求めること、歌うこと、感謝すること、賛美すること、神の救いのみわざを告げ知らせることが含まれます。 **B.** 生ける水は私たちの中へと入るとき、私たちに浸透し、私たちの全存在を経過し、私たちによって吸収されて、私たちが養われ、造り変えられ、同形化されて、栄光化されるようにします。 **C.** 「私が与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである」(ヨハネ4:14): 三一の神は、神聖な三一において、三つの段階で流れます。父は源泉であり、子は泉であり、霊は川です/新エルサレムは、永遠の命の総合計です。「へと至る」という言葉は、「となる」を意味します。「永遠の命へと至る」は、永遠の命の総合計、新エルサレムとなることを意味します。 **D.** 生ける水の源泉となることでの神の目標は、神の増し加わりとしての召会を生み出して、神の豊満とならせ、神を表現させることです。これが、神のエコノミーにおける神の心の願い、神の大いなる喜びです。 **E.** 生ける水の源泉としての神以外の何ものも、私たちの渴きをいやすことはできず、私たちを満足させることはできません。私たちの存在の中へと分与された神以外の何ものも、私たちが神の増し加わりとならせて神の表現とすることはできません。 **F.** 私たちは、神の民が命の水としての命の霊に欠けるときはいつも、問題を持つことを認識する必要があります。神の民が、生ける水としての救う霊をあふれるばかりに持つとき、彼ら自身の間の問題と、神に対する彼らの問題は解決します。

**III.** エレミヤ書の核のもう一つの面は、私たちが堕落した状態において何であるのかを暴露することです。 **A.** 「心はすべてのもにまさって偽るもので、それはいやされることではない。だれがそれを知ることができよう?」(エレミヤ17:9): 人の偽る、またいやされることのない心に関するこの言葉でさえ、神のエコノミーと彼の分与と関係があります。人の心は腐敗していて、偽るものであり、その状態はいやされることがありませんが、そのような心でさえ、神がその上に彼の命の律法を書き記す板となることができます/これが啓示している事は、神にはご自身を人の中へと分与する道があるということです。いったん神は人の中へと入ったなら、人の霊から人の心へと広がります。これが神のエコノミーにしたがって、堕落した人の心を対処

する神の道です。 **B.** 「クシ人は自分の皮膚を、豹は自分の斑点を変えることができようか?もしできるならば、悪を行なうのに慣れたあなたがたも、善を行なうことができる」(エレミヤ13:23): イスラエルは、生ける水の源、源泉である神を捨て、邪悪になりました。彼らは、変えることのできない罪深い性質を持っており、それはちょうど、変えることのできないクシ人の皮膚や豹の斑点のようでした。これは、堕落した人の真の状態を暴露します。 **C.** 栄光の中にある主のビジョンを真に見るすべての人は、自分の汚れに関して、良心の中で照らされます。どれだけ私たちが自分自身に関して認識しているかは、どれだけ私たちが主を見ているかにかかっています: 私たちは主を見て暴露されればされるほど、ますます清められます。私たちと主との交わりは、主の血の絶え間ない清めによって維持される必要があります/私たちはモーニングウオッチ(朝ごとの復興)で、たとえ十五分か二十分だけでも用いて、主と共にいる時間、その霊の中にとどまる時間を持つようにします/私たちは神を見て、神を知って、神を愛すれば愛するほど、ますます自分自身を忌み嫌い、ますます自分自身を否みます。 **IV.** エレミヤ書の核にある第三の事柄は、キリストが私たちにとって何であるのかということです: **A.** 「見よ、その日々が来ようとしていると、エホバは告げられる。その時、私はダビデのために義なる若枝を起こす…『エホバ私たちの義』、これが、彼が呼ばれる彼の名である」/「エホバ私たちの義」というこの名が示している事は、ダビデの子孫としてのキリストが、人であるだけでなく、エホバでもあるということです。エホバは、天と地を創造し、アブラハムを選び、イスラエルの種族を起こした方です。またエホバは、ダビデの主であった方/キリストは、ダビデの若枝(ダビデの子)として来ましたが、エホバご自身(ダビデの主)であり、神の民の義となります/私たちはキリストの贖いを基礎として、キリストの中へと信じて神の赦しを受けることができ、神は私たちが義とし、私たちに義の上着としてのキリストを着せることができます/これは、三一の神の具体化としてのキリストのために道を開きます。そして彼は私たちの中へと入って、私たちの命、私たちの内なる命の法則、私たちのすべてとなり、ご自身を私たちの全存在の中へと分与して、神の永遠のエコノミーを完成します。 **B.** キリストご自身は、神によって私たちに与えられた、命の新しい契約、新しい遺言です: 契約と遺言は同じものです。しかし、契約を立てた者が生きているとき、それは契約ですが、彼が死んだとき、それは遺言となります。遺言は、今日の用語では遺言書です/契約は、ある約束を内容とする合意であり、契約をした人のために一定の事柄を成就します。一方で、遺言は、すでに成就されたある事柄を内容とする遺言書であり、それは相続人に遺贈されています/律法の古い契約は神の肖像画ですが、恵みの新しい契約は神のパーソンです/私たちがキリストの中へと信じる時、この肖像画のパーソンは私たちの中へと入って来ます。そして、私たちが霊にしたがって歩き、私たちの思いを霊に付けるとき、彼は私たちの中で律法の義の要求を満たします/死を通して、キリストは神の律法にしたがった神の義の要求を満たして、新しい契約を立てました。そして復活において、彼は新しい契約とそのすべての遺贈になりました/昇天において、キリストは神のエコノミーに関する新しい契約の巻

物を開きました。そして、彼は天の務めにおいて、仲保者、執行者として、その内容を執行しています/キリストは、ユダ族の獅子として、サタンに勝利を得て、サタンを打ち破りました。また、キリストは贖う小羊として、墮落した人の罪の性質と罪の行為を取り去りました。また、キリストは七つの霊として、新しい契約の巻物の内容であるご自身を私たちに注入します/私たちの霊は、新しい契約のすべての遺贈の「銀行口座」です。命の霊の法則によってこれらすべての遺贈は私たちの中へと分与され、私たちに対して真実なものとなります/新約の教えは、神聖な命が、私たちの存在の中心(私たちの霊)から、周辺(私たちの心)へと拡大することについて述べています。神がご自身の法則を私たちの心に書くことは、私たちの霊から私たちの心の中へと動いて、彼であるものを私たちの存在の中へと書き記すことによってです/私たちは内側にある神聖な命の自然で自動的な機能を通して、神を知る能力を持ち、神を生きる能力を持ち、更には、神の命と性質において(神の神格においてではない)神となる能力さえ持ちます。それによって私たちは、神の増し加わり、神の拡大となつて、神の豊満となり、神に永遠の表現を得させます。

### 召会のお知らせと交わり: 9月特別集会:

- 9/19(土):集会①10-12、集会②13:00-15:00  
場所:本山、魚崎、六甲、三宮の各集会所  
9/20(主):集会③10:30-12:00(パンさき後集会)  
集会④13:00-14:30(集会後パンさき)  
場所:本山、魚崎、六甲、三宮の各集会所  
9/21(月):福音活動①10-12、場所:本山、六甲、又は福音ブレンディング10:30-15:30、場所:六甲山RG  
9/22(火):祈り集会9:30-11:00  
場所:本山、魚崎、六甲、三宮の各集会所  
午後各地区で福音活動②

### CP1:生ける水の源泉である神を捨てるのが、あらゆる問題の根本原因である。毎日、源泉である神に来て、生ける水を飲み、享受することは、極めて重要である

エレミヤ2:13まことに、私の民は…私、この生ける水の源泉を捨てて、自分たちのために水ため、水をためることがない壊れた水ためを掘ったのだ。イザヤ12:3-6 あなたがたは歓喜をもって、救いの泉から水をくむ。その日、あなたがたは言う、「エホバに感謝せよ。彼の御名を呼び求めよ! 彼のみわざをものもろの民の間に告げ知らせよ。…エホバに詩をもって歌え。…叫び声を上げ、喜びの叫び声を鳴り響かせよ…」ヨハネ4:10 イエスは答えて言われた、「もしあなたが神の賜物を知り、また『私に飲ませてください』と言う者がだれであるかを知ったなら、あなたのほうが彼に求めていたであろう。そうすれば、彼はあなたに生ける水を与えていたであろう」。14しかし、私が与える水を飲む者はだれでも、決して永遠に渴くことはない。私が与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである。OL1:神が私たちから何を求めているかは、おもにエレミヤ2:13で述べられており、それは私たちの神が生ける水の源泉であることを啓示しています。OL2:生ける水の源泉となることでの神の目標は、神の増し加わりとしての召会を生み出して、神の豊満とならせ、神を表現させることです。これが、神のエコノミーにおける神の心の願い、神の大

いなる喜びです。OL3:私たちは、神の民が命の水としての命の霊に欠けるときはいつも、問題を持つことを認識する必要があります。神の民が、生ける水としての救う霊をあふれるばかりに持つとき、彼ら自身の間の問題と、神に対する彼らの問題は解決します。

神の目に最も邪悪な事は、源としての、すなわち生ける水の源泉としての彼を捨てて、他のいくつかの源に転向することです。他の源はすべて偶像です。この節で偶像は、水をためることができない壊れた水ためにたとえられています。人々は今日、自分たちのためにあらゆる種類の水ためを忙しく掘っています。実は、これらの水ためは偶像です。

神のエコノミーは、彼ご自身を生ける水として分与して、彼の増し加わり、彼の拡大を生み出し、彼の表現とならせることです。…ヨハネ4章で主イエスはサマリヤの女に、生ける水について語られました。…啓示録22:1-2は、新エルサレムに命の川が流れており、この川において命の供給としての命の木が生長して都全体を支え、維持していることを見せています。

### 適用:新人及び青少年・大学生編

主の御名を呼び求め、主に感謝することは、救いの泉から飲むことです。Iテサロニケ5:16 いつも喜んでいなさい。17 絶えず祈りなさい。18 あらゆることで感謝しなさい。なぜなら、これがあなたがたに対する、キリスト・イエスにある神のみこころだからです。19 その霊を消してはいけません。20 預言を軽んじてはいけません。

神は毎日あなたの環境をアレンジして、あなたに前進する機会を与えています。ですから、あなたはあらゆることで感謝して、機会を捉えることを学んでください。機会を捉えないとは、神のアレンジした環境を理解せず、その環境とアレンジした神を受け入れないことです。これは実際には、日々の小さな「生ける水の源泉である神を捨てる」ことです。なぜなら、神のあなたに対するアレンジのない日はないからです

例えば、あなたは祈りのLine Groupなどで他の兄弟姉妹たちのボイスメールの着信に気付きましたが、送信したくないので聞くのをやめておこうと考えました。このようにして、毎日、少しずつ機会を失い、生ける水の源泉である神を捨てています。

兄弟の証し:「ハレルヤ! 主に感謝します。私は大学に入ってから二年半、携帯のゲームに没頭して遊んでいました。そのため、1年生の時、学校にほとんど行けませんでした。大学2年生になる前、魚崎のプラザハウスに入居しました。それから、ゲームをする時間が減りましたが、まだかなりの時間をゲームに使っていました。兄弟姉妹達に何回も注意されましたが、あまり気にせず、変わりませんでした。しかし、今年(大学3年生)の8月18日火曜日、私の内側で急にゲームをしたという欲求がなくなりました。ゲームをし始めても、やりたい気持ちが無くなりました。その後、毎日少しずつ、ゲームのアプリを消し、ついには携帯のゲームアプリを全て消去しました。そして主日(8/23)にこの事を証しました。そして、兄弟姉妹が普段私のために祈ってくれていたことを初めて知りました。主に感謝します! 私がゲームをやめることができたのは、兄弟姉妹の背後の祈りと、主が私の内側を照らし、観念を変えてくださ

ためです。今は内側のゲームの悪鬼を追い払いました。ゲームに没頭していたので、学校の成績は非常に悪く、主を追い求める時間と機会を失ってしまいました。主よ、悔い改めます。いなごに食われた日々を償ってください。これからの召会生活の中で、もっと主を追い求めて、主で満たされて、勉強と福音に励みます!」

祈り:「おお主イエスよ、主がアレンジしてくださった環境に感謝しないのは、生ける水の源泉である神を捨てることです。毎日の小さな『神を捨てる』ことから、私を救ってください。生ける水の源泉である神に来ないことは、邪悪な源であるサタンに開くことになり、あらゆる問題はそこからやって来るのです。主が私のために毎日アレンジしてくださっていることに気が付き、機会を捉えて、主に感謝し、主の中で学び前進できますように!」

**CP2** 堕落した人の心は、すべてのものに勝って偽っており、癒され得ない。しかし、神には神聖な分与の下で、**堕落した人の心を造り変える道がある**

**OL1**:「心はすべてのものにまさって偽るもので、それはいやされることはない。だれがそれを知ることができよう?」(エレミヤ 17:9)。人の偽る、またいやされることのない心に関するこの言葉でさえ、神のエコノミーと彼の分与と関係があります。人の心は腐敗して、偽るものであり、その状態はいやされることがありませんが、そのような心でさえ、神がその上に彼の命の律法を書き記す板となることができます。**OL2**:これが啓示している事は、神にはご自身を人の中へと分与する道があるということです。いったん神は人の中へと入ったなら、人の霊から人の心へと広がります。これが神のエコノミーにしたがって、堕落した人の心を対処する神の道です。**OL3**:「クシ人は自分の皮膚を、豹は自分の斑点を変えることができようか? もしできるならば、悪を行なうのに慣れたあなたがたも、善を行なうことができる」(エレミヤ 13:23)。**OL4**:イスラエルは、生ける水の源、源泉である神を捨て、邪悪になりました。彼らは、すべてのものにまさって偽る、いやされることのない心を持っており、変えることのできない罪深い性質を持っており、それはちょうど、変えることのできないクシ人の皮膚や豹の斑点のようでした。これは、堕落した人の真の状態を暴露します。

イザヤは栄光の中にあるキリストのビジョンに反応して、「私は災いだ、私は終わりがだ!」(6:5 前)と言いました。イザヤはこのビジョンを見た結果、終結させられ、終わらせられました。イザヤは続けて言いました、「私は汚れた唇の者で、汚れた唇の民の中に住んでいる」(6:5 中)。私たちはこれによって、自分の唇、自分の語ることに注意しなければならぬのを見ることができます。毎日私たちはしゃべりすぎます。私たちが語る言葉の大部分は邪悪なものです。なぜなら、ほとんどの言葉が批判の言葉であるからです。…こういうわけで、私たちの唇は汚れています。うわさ話、つぶやき、論争などの汚れた事柄は、召会生活を酢のような味わいにします。もし私たちがうわさ話、つぶやき、論争を除き去るなら、語るべき事がほとんどないことを見いだすでしょう。イザヤのように、私たちは自分の唇が汚れていることを認識する必要があります。…私たちの経験によれば、私たちは神を見て神を愛すれば愛するほど、ますます自分を忌み嫌います。私たちは神を知れば知るほど、ますます自分自身を否みます。

あなたは心を主に開き、覆いのない顔をもって栄光の主を見つめつつ、正直に主と交わってください。あなたは主をだますことはできませんので、ごまかしたり、言い分けしたりせずに、単純に心を開いてください。そうすれば、覆いが取り除かれて、栄光の主を見つめることができます。**Ⅱコリント 3:16** しかし、彼らの心が主に向く時はいつも、そのおおいを取り除かれます。**18** しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。

例えば、あなたは会社で自分が冷遇されていると考えて、悩んでいます。この場合、三つの可能性が考えられます。**(1)**高ぶっているので自分を高く評価しすぎており、冷遇の事実はない、**(2)**冷遇の理由が自分自身にあることに気付いているにも関わらず、自分を綺麗に見せようとして、自分で自分自身と周りの人を欺く。**(3)**成長するために、主によって与えられた冷遇の環境である(この場合、冷遇を通して主が成長を促している)ので、感謝してその環境を受け取るべきである)。

どのケースでも、「自分は冷遇されている」という考えはあなたの覆いになります。あなたはこの考えを持ったままでは、顔に覆いがかかっているままなので、栄光の主を見つめることはできません。主の御名を呼び、自分の観念を下ろして主に心を開き、主を見つめて主と交わってください。そうすれば光の中で、あなたは自分の真の状況を見ることができ、高ぶりやわがままなどの罪を告白することができます。どうか主があなたを憐れんでくださり、心を完全に主に開くことができますように。**Ⅰヨハネ 1:7** 神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪から私たちを清めます。

実はあなたや私を含む全人類は、堕落しきっており、改善不能で、何の望みもありません。しかし、堕落した人は自分を良く見せたいので、ごまかしたり、嘘をついたり、霊的な振りをしたりします。光で照らされても、それを受け入れず、罪を覆い隠そうとします。どうか主があなたを憐れんでくださり、主の光の中で照らされた自分の罪を隠さず、告白して祝福されますように!

**Ⅰヨハネ1:8** もし、自分には罪がないと言うなら、私たちは自分を欺いているのであって、真理は私たちの中ありません。**9** もし、私たちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。**詩 32:5** 私は自分の罪をあなたに知らせ、私の罪科を覆いませんでした。私は言いました、「私の違反をエホバに告白しよう」。その時、あなたは私の罪の罪科を赦されました。**箴言28:13** 自分の違反を覆う者は栄えることがない。しかし、告白してそれを捨てる者はあわれみを得る。

祈り:「おお主イエスよ、私の心はすべてのものにまさって偽るもので、それはいやされることはなく、口から出て来る言葉も汚れた言葉ばかりです。主の照らしによって私の真の真の状態が暴露される時、言い訳を言わずそれを受け入れ、悔い改めます。覆いのない顔をもって、栄光の主を見上げます。このようなどうしようもない私ですが、

あなたは私の心の中に yourself を分与することによって、私の心を癒し、造り変えることができます。ハレルヤ!

**CP3: 霊の中には、既に命の霊の法則が設置されている。**

**思いを霊に付けて、この法則にスイッチ・オンする**

**OL1:** エレミヤ書の核にある第三の事柄は、キリストが私たちにとって何であるのかということです。**OL2:** 「見よ、その日々が来ようとしていると、エホバは告げられる。その時、私はダビデのために義なる若枝を起す…『エホバ私たちの義』、これが、彼が呼ばれる彼の名である」(エレミヤ 23:5-6)。**OL3:** 私たちはキリストの贖いを基礎として、キリストの中へと信じて神の赦しを受けることができ、神は私たちを義とし、私たちに義の上着としてのキリストを着せることができます。**OL4:** これは、三一の神の具体化としてのキリストのために道を開きます。そして彼はわたしたちの中へと入って、わたしたちの命、わたしたちの内なる命の法則、わたしたちのすべてとなり、ご自身をわたしたちの全存在の中へと分与して、神の永遠のエコノミーを完成します。**OL5:** 私たちの霊は、新しい契約のすべての遺贈の「銀行口座」です。命の霊の法則によって、これらすべての遺贈は私たちの中へと分与され、私たちに対して真実なものとなります。エレミヤ 33:16 それらの日々ユダは救われ、エルサレムは安全に住む。『エホバ私たちの義』、これが、その町が呼ばれる名である。エレミヤ 31:31 私はイスラエルの家とユダの家と新しい契約を結ぶ。33-34 私は私の律法を彼らの内なる各部分に置き、それを彼らの心へ書き記す。私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。…彼らはみな私を知るようになる…私は彼らの罪科を赦し、もはや彼らの罪を思い出さないからである。

「エホバ私たちの義」(エレミヤ 23:6)は神性におけるキリストを指しています。「義なる若枝」(23:5)は、人性におけるキリストを指しています。この名が示している事は、ダビデの子孫としてのキリストが、人であるだけでなく、エホバでもあるということです。

エレミヤ 23:6の「私たちの」は、キリストが私たちと一になり、私たちの義となることを示します。キリストは彼の贖いに基づいて、私たちの義となります。キリストは義なる若枝として、ダビデの子孫として肉体の中で来て、十字架上で死んで彼の血を流し、私たちの罪を洗い去り、贖いを完成しました。私たちは彼の贖いを基礎として、彼の中へと信じて神の赦しを受けることができ、神は私たちを義とし、キリストを私たちの義とならせ、私たちに義の上着を着せることができます。これは、三一の神の具体化としてのキリストのために道を開きます。そして彼は私たちの中へと入って、私たちの命、私たちの内なる命の法則、私たちのすべてとなり、ご自身を私たちの全存在の中へと分与して、神の永遠のエコノミーを完成します。

新しい契約の中心、中心性は内なる命の法則です。…この法則の中に神聖な能力があり、神聖な能力は全能です。この神聖な能力は、私たちの中であらゆる事を行なって、神の定められた御旨を完成することができます。…この能力は私たちを、キリストのからだの肢体に構成することができます、それはあらゆる種類の機能を含みます。すなわち使徒、預言者、伝道者、牧する者また教える者(豊富な供給の節々)の機能と、その度量に応じて機能するからだのあらゆる部分の機能です。…機能に

おいて、この法則は、私たちが神で構成し、キリストのからだの肢体に構成して、あらゆる種類の機能、あらゆる種類の性能を持たせる能力を持っています。

**適用: 奉仕者編**

あなたは奉仕者として、主の回復の目的が花嫁を準備することであることを認識してください。あなたが勝利者になり花嫁の一部となるために、三一の神は受肉、人間生活、死、復活、昇天のプロセスを経て、神・人であるキリストのパーソンのすべて、そして彼が達成したすべてを命の霊の法則によって、あなたに分与します。この命の霊の自然な法則が新契約の中心であり、それによってキリストがあなたのすべてとなることができます。

ローマ 8:2 命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、私を解放したからです。5 なぜなら、肉にしたがっている者は、肉の事柄を思い、霊にしたがっている者は、その霊の事柄を思うからです。6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。**思いを霊に付けることの成功と失敗の証し:** 私は大学一年生の後半から祈ることを学び始めました。その時、祈りの中で豊かな霊の流れを経験しました。その後、2年生の時から福音を伝えるようになり、多くの学生たちが救われました。福音集会の前の一週間は、私の提案で、団体の祈り読みの30分前に、もっぱら福音のために祈りました。この時、思いを霊に付けて、その霊の流れを享受し、命の霊と権威の霊で満たされて、福音友人を集会に連れて行きました。思いを霊に付けると自然に命の霊の法則にスイッチ・オンしており、福音が自由に流れました。3年間でおよそ35~40名の人が救われました。

しかし勉強の時、私は命の霊の法則にスイッチ・オフ状態でした。私は薬学を専攻していましたが、覚えることが膨大で、興味も湧かず、いつも「なぜこんなことを覚えられないのか?」とっていました。後で大学院に進学した時に気付いたのですが、これは思いを肉に付け、命の霊の法則をスイッチ・オフにしている状態でした。大学時代、勉強においてほとんど、思いを霊に付けていなかったため、霊の流れがなく、暗闇、不満、不安、死などで満たされていました。

思いがドアのようで、肉に付けると肉にドアを開くので、暗闇、不満、不安、死などの消極的なもので満たされ、サタンに導かれてしまいます。しかし、思いを霊に付けると霊にドアを開くので、命、喜び、感謝、平安などの積極的な感覚で満たされ、主に導かれます。私の大学時代は、福音においては、その霊の豊かな流れがあり祝福されましたが、勉強においては思いを肉に付けていたので、失敗の暗い経験で満ちていました。しかし、この失敗のゆえに、「これ以上失敗し続けることはできない」という強い感覚を持つようになり、その後の大学院、全時間訓練、ビジネス・ライフ、奉仕などの大きな助けとなりました。

**祈り:** 「おお主イエスよ、主を信じ受け入れた私の霊の中には、命の霊の法則が既に設置されています。思いを霊に付けると命の霊の法則にスイッチ・オンできますが、思いを肉につけると、この法則にスイッチ・オフしてしまいます。命の霊の法則にスイッチ・オンすると自然に、神聖な分与が私の霊から魂に広がり、私に福音を伝え、生み、養い、教え、建造する機能をも備えてくださいます。ハレルヤ! 主を賛美します。アーメン!」